

令和元年度

印西市民アカデミーだより

第3号

第3回 印西市民アカデミー〈5月18日〉

講座4〈歴史〉

講座名：印西の歴史を学ぶ①「石器・縄文・弥生時代」
講 師：印旛都市文化財センター 学芸員 根本 岳史氏
会 場：中央公民館（学級講座室）

「大昔の印西市は、どんなところだったのか？」をテーマに市内各地の遺跡をたどりながら学んでいく講座です。

千葉NT地域には、多くの旧石器遺跡があり、代表的な遺跡として、木刈峠遺跡（木刈）や瀧水寺裏遺跡（滝）があります。



縄文時代は、三方を海に囲まれ…

縄文時代の遺跡としては、瀬戸遠蓮遺跡（いには野）や式ト込遺跡（角田）、一ノ作遺跡（草深）があります。遺跡は多いが、大規模な貝塚・集落は少ないようです。弥生時代の遺跡としては、萩原長原遺跡（吉高）や船尾白幡遺跡（船尾）があります。弥生土器なのに縄目の文様がある土器が出土しています。古墳時代の遺跡としては、向新田遺跡（武西）や大木台遺跡（瀬戸）があります。大木台遺跡で出土した埴輪は、印旛歴史民俗資料館に展示されています。これらの遺跡の他にも奈良・平安時代の遺跡についても説明してくださり、はるか古の印西について学ぶことができました。



講座5〈歴史〉

講座名：印西の石造物について学ぶ
ガイド：生涯学習課 学芸員 野村 優子氏
会 場：中央公民館（学級講座室）

印西市内を散策していると、たくさんの石造物に出会えます。「お墓がたくさんあるな！」と勘違いしている人が多いようなので、この誤解を解きながら、歴史的経緯と民間信仰について学んでいく講座です。

印西の石造物は、大きく分けて、庚申塔、月待塔、石仏・仏塔の3つに分けられます。庚申塔は、中国より伝来した道教に由来する庚申信仰に基づいて建てられた塔です。月待塔は、月待行事を行った講中で、供養の記念として造立した塔です。石仏は、石に彫られた仏像で、地藏菩薩や如意輪観音菩薩が多くみられます。どれも江戸時代に流行りましたが、明治以降、街道筋にある石仏を中心に撤去され現在に至っています。



一石三六地藏（大森）

第4回の予定

■日時：5月25日（土）10：00～15：30

◇講座6〈歴史〉10：00～12：00

講座名：印西の歴史を学ぶ②「木下河岸」

講 師：印西ふるさと案内人協会

会 場：中央公民館（学級講座室）

◇講座7〈歴史〉13：30～15：30

講座名：史跡散策「六軒～木下」

講 師：印西ふるさと案内人協会

コース：木下駅周辺の史跡を巡ります。

